

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 4 月 5 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ八戸

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	0	十分なスペースは確保できているが、状況によっては足りないと思える場面もある（お昼寝時等）。	状況に応じて区画整理をしているが、今後は遮音効果のあるものも導入の必要性がある。
	2	職員の配置数は適切である	9	2	0	児発管をはじめ、保育士や機能訓練指導員等、基準以上に配置している。	無資格者や非常勤職員の雇用を行い、各個人への負担軽減を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	2	0	入口に段差があるため、完全なバリアフリーとは言えないが、社会的バリアはないと思われる。	物理的な面は人幼児にスロープを導入するなど対応できている。施設柄、障がい者の如何にかかわらず、社会的バリアへ対しては手助けをするなどして対応している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	2	0	個々人の目標を設定し、毎月自己評価を行っている。	今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2	0	保護者からの要望には、LINEや電話、相談支援員を通じて把握し、管理者が直通電話を持つことで相談窓口も整えて公開している。	職員の負担増にならないように、相談、調整を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	0		提出とほぼ同時期に掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2	1	法人顧問による指導、業務アドバイスを受けている。また、他事業所間の連携として有志団体への参加も行っている。	今後も継続していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	0	毎月、情報交換及び法定研修をはじめとした研修に参加し、外部研修にも参加のち共有も行っている。	主に管理者が参加しているが、今後は一般職員の参加も促していく。
適切 な 支 援 の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	現在も行っているが、今後はより5領域として詳細なスケールを作成していく。	評価スケールを見直し、都度、必要に即した領域評価を行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	0	今後、より状況に応じた評価スケールを使用していく。	改めて評価スケールを見直し、検討・作成し使用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	0	月別担当を中心に話し合い、作成している。	今後も継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	日頃より、情報収集を行い、季節感に応じた活動と、地域行事等へ参加を行っている。	今後も継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	1	0	事業所内ルールを作成している。また、活動においては時間や能力に応じた内容を決めて行っている。	今後も継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	モニタリング、アセスメントを行い、計画を都度見なおしている。	今後はより詳細な評価スケールを導入予定。

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	0	役割分担を行い、活動の詳細を決めたうえで、臨機応変に対応できる体制を整えている。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1	0	職員間LINEにて、反省点や問題提起などを共有し、振り返りと解決や相談を行っている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	連絡帳に日々の記録を行い、月ごとの振り返りやLINEにて支援の検証や改善につなげている。	今後も継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	モニタリングは定期的に行い、アセスメントを通じて見直しを行っている。	今後はより詳細なアセスメントを導入予定。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	3	0	ガイドラインを見やすくファイリングしている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0	児発管が参加している。	今後も継続していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	1	0	年度初めに特別支援コーディネーターとの連絡調整を行っている。また、引き多指示に変化等を聞き取り、その後の支援活動につなげている。	今後も継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	3	医療的ケア児はいないが、必要であれば主治医や家族と連携し、支援を行っている。	ケアが必要な児童の受け入れに備え、体制づくりに努める。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	2	0	相談員を通じて聞き取りを行うほか、就学後、教師とも情報共有を行っていくよう努めている。	自立支援協議会と調整し、今後統一化した聞き取り表をもって共有できればいいと考えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	6	1	これまでは実績ないが、今後できるように努めていきたい。	本人及び移行先との連携を行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	4	0	専門機関での研修に参加し、全体への共有も行っている。	今後も継続していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	3	1	児童クラブとの交流はないが、児童館や公園等で交流の場は設けている。	今後も継続していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	5	0	本年度は参加の機会を得た。	今後も継続していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	その日の様子等は送迎時をはじめ、電話やLINEでも共有できている。	今後も継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	2	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、研修等を受け、相談時には助言ができる体制は整えている。	今後も継続していく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1	0	見学、契約時に説明を行い、法改正等で変更があれば都度説明し同意を得ている。	今後も継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	0	ラインや送迎時に相談があれば助言を行う体制を整え、また内容については共有を行っている。	今後も継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	4	主催や仲介をすることはないが、介入もしないため連携を阻害するものではない。	今後機会があれば開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	0	相談窓口を設置し、説明を行っている。また、苦情等についても同様に窓口を設置し、対応している。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	3	0	毎月のイベントカレンダーを発行し、Instagram等にも発信している。	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	個人情報に記載したものは鍵付き書庫に保管管理し、顔写真については同意を得たもののみ使用しInstagram等に発信している。	今後も継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	2	0	聴覚障害の児童へはゆっくり言葉を発する、指文字等を習得するなどの工夫を行っている。	今後も継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	2	招待行事はないが、果物狩りなどではおすそ分けをし、配慮に努めている。	今後も継続していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	3	0	マニュアルはファイリングして誰でも取れる位置に配置している。	今後読み合わせなどを行い、周知を徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	4	1	非常時にすぐ移動可能なように、避難場所との親和性に努めている。	児童の成長に伴い、避難訓練も活動に入れていけるよう検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	年数回の研修に参加し、都度共有している。	今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	3	0	委員会を設置し、拘束の如何については話し合っている。また緊急性を伴うものは後日報告。検討を行っている。	今後も継続していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	5	1	アレルギーについては聞き取りを行ったうえで、可能な限り対応している。	今後も継続していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	0	作成し、共有している。	今後も継続していく。